

夢・未来プロジェクト

目的・ねらい

オリンピック・パラリンピアン等を学校に派遣し、幼児・児童・生徒と交流することで、スポーツへの関心を高め、夢に向かって努力したり、困難を克服したりする意欲を養うことを目的とする。

取組・活動内容

①実施時期

平成27年度～令和2年度

②実施規模

都内公立学校・園及び私立学校 1,398校実施

③取組・活動内容

「YOKOSO」プログラム

オリンピック競技大会において日本代表として活躍した選手又はその指導者を学校に派遣し、夢・希望・感動との出会いやスポーツへの親しみを促進、自己実現に向けての努力や困難に立ち向かう意欲等を育成することをねらいとして、講演、競技紹介、実技指導等を実施

「Welcome」プログラム

外国人アスリートを学校に派遣し、スポーツを通じた交流で国際理解の推進、スポーツへの関心の向上等をねらいとして、講演、競技紹介、実技指導を実施

「自分にチャレンジ」プログラム

パラリンピアン、障害者スポーツ選手、指導者を学校に派遣し、障害者スポーツへの興味・関心の向上や、障害のある人への理解の促進を深めることをねらいとして、講演や競技紹介、実技指導を実施

本取組・活動の成果

- 参加した生徒からは、「競技を教えてくれただけでなく、私に自信をもたせてくれました。本当に感謝しています。」等の感想があり、子供たちに夢・未来・希望を感じてもらうことができた。
- 参加した生徒からは、「海外の選手は、言葉の違いが一番の壁だと思っていましたが、文化の違いや価値観の違いが大変だと聞いて驚きました。また個々の意見を出し合うことを大切にされた方がよいということにも共感しました。」等の感想があり、異文化への理解を深めることができた。
- 参加した児童からは「パラアスリートの話を聞いて、あきらめないで続けていくことで、夢はだいたいかねえられるんだという言葉が心に残りました。」等の感想があり、夢に向かってあきらめず努力することの重要性を感じてもらうことができた。

活動の様子

